

新火葬場建設3候補地の課題整理と新たな候補地について

1. 結 論

- (1) 新火葬場建設候補地選定委員会で提案された3候補地のうち、2ヶ所については事業化が困難。
- (2) 新火葬場の建設候補地については、コンセプトを踏まえて再選定を行う。
- (3) 合併特例債の適用期限である27年度末の稼動とする。

2. 新火葬場建設候補地の課題整理と事業実現性

候補地	主な課題	事業の実現性
長瀬町 (現火葬場) 事業費 約30億円	①敷地確保のため大規模な造成工事と、造成残土の持ち出しが必要。 ②進入路は、住宅地を回避して新設するか、既存の道路を拡幅するか2通りがあるが、新設の場合は大規模な道路建設となり、既存道路は主要道路との交差部の改良、用地取得等が必要。	①敷地確保のための用地取得、造成工事に膨大な経費を要する。 ②進入路の新設は、膨大な経費と時間を要する。既存道路の拡幅等は、周辺が住宅団地であり実現に時間を要する。 ・以上のことから、27年度までの実現は困難。
高田町岩曾根 (旧射撃場) 事業費 約38億円	①鉛含有土壌の除去を要する。また、鉛分布状況の詳細調査が必要で、その結果によっては除去土量の増加が予想される。 ②敷地確保のため大規模な造成工事が必要。 ③林道廃止、市道認定を要する。 ④主要道路から約1,300mの道路整備や水道施設整備が必要。	①鉛含有土壌の除去に膨大な経費を要するうえ、処理期間・経費の目処が立たない。 ②③④大規模な造成工事となるうえ道路整備に多くの地権者の土地取得が必要となり、経費も要する。 ・以上のことから、27年度までの実現は困難。
笠原町森下 (旧し尿処理場) 事業費 約22億円	①隣接した住宅、工場がある。	①周囲の緩衝帯となる緑地帯を設けると、施設建設に十分な面積を確保できない。 ・27年度までの実現は可能と考えられるが、制約が多い。

3. 新たな候補地の考え方について

建設候補地選定委員会では、既存の市有地を対象に選定を行ったが、火葬場としての理想を反映したコンセプトのもとに新たに候補地を選定する。

【コンセプト】―― 新火葬場建設に係る庁内検討委員会の報告書から抜粋

- ・心の和む空間、やすらぎを与える尊厳のある施設（葬送の場）

【コンセプトを踏まえた施設の条件】

- (1) 施設とは、建物に限定せず敷地を含めた総合的なもの。
- (2) 主要幹線道路から生活道路を経由しないで進入できる場所。
- (3) 周囲に緑地帯等を設けることができ、静寂感を確保できること。
- (4) 大規模な造成工事が必要でないこと。

4. 新たに検討の対象とする土地

庁内建設プロジェクトチームで、下記の土地について技術的な面において検討中である。今後追加も含めさらに絞り込み、新たに発足する建設候補地選定委員会にて検討を行う。

候補地	用 途	台帳面積(㎡)	地目	所 有	費 用
大藪町上迫間洞 (ため池)	市街化調整区域	8, 0 6 2 (1 筆)	ため 池	多治見市	約 2 2 億円
松坂町 3 丁目	市街化調整区域	1 4, 7 5 6 (2 筆)	山林	私有地	約 2 3. 5 億円
金岡町 5 丁目 (工場跡地)	第 1 種住居地域	8, 5 5 2 (1 5 筆)	宅地	私有地 (共有)	約 2 5 億円
笠原町梅平 (笠原クリーンセンター)	無指定(白地)	8 5, 0 1 6 (1 筆)	山林 (※)	多治見市	約 2 5. 5 億円
笠原町森下 (旧し尿処理場)	準工業地域	8, 6 5 9 (2 筆)	山林 宅地	多治見市	約 2 2 億円

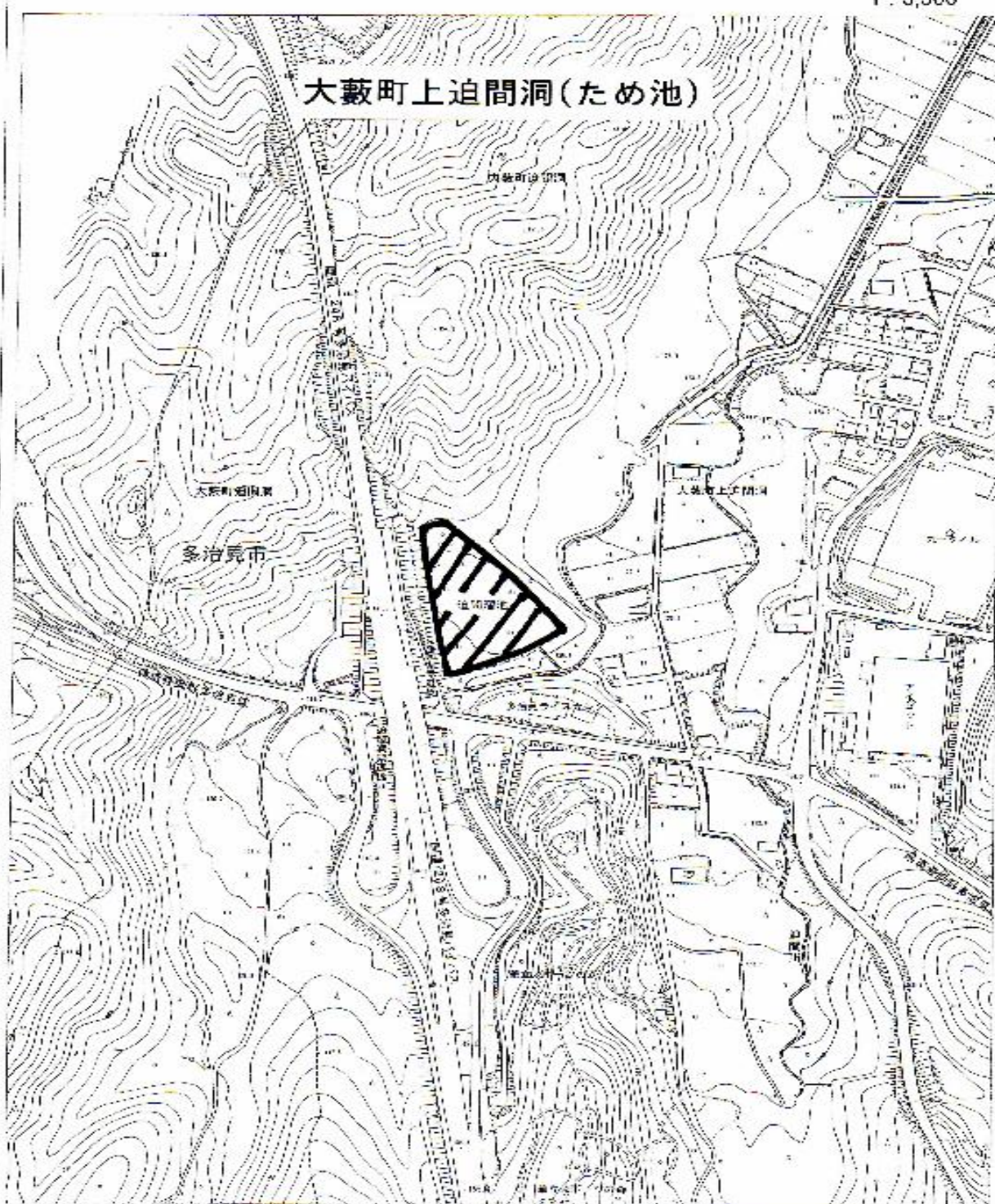
※ 現況は廃棄物処分場

5. 今後のスケジュール

	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度
候補地選定・決定	⇔					
調査・計画		⇔				
設計(土木・建築)		⇔	⇔			
敷地造成工事			⇔	⇔		
建築工事					⇔	
試験運転						⇔
既施設解体						⇔

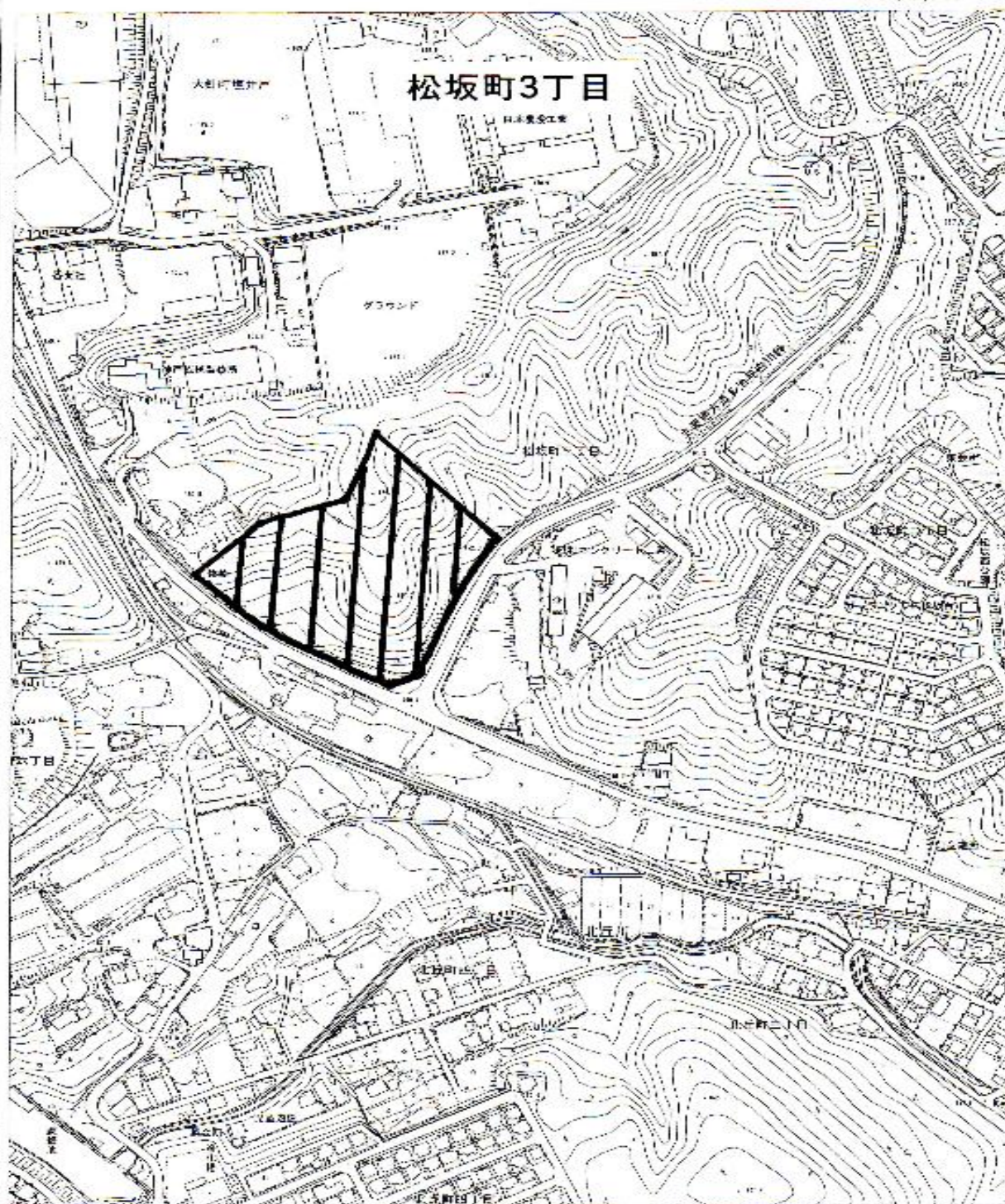
1 : 3,500

大藪町上迫間洞(ため池)



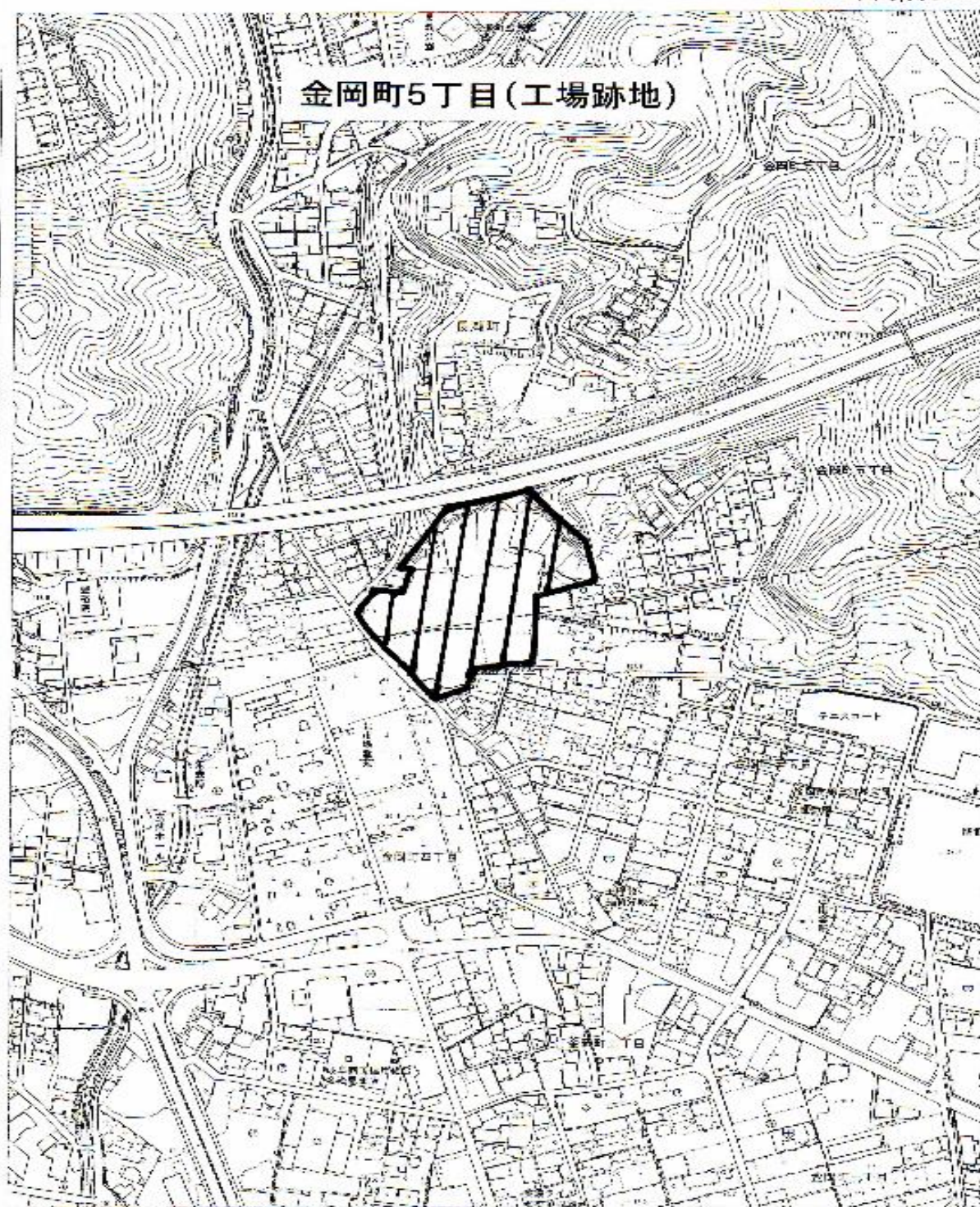
1 : 3,500

松坂町3丁目

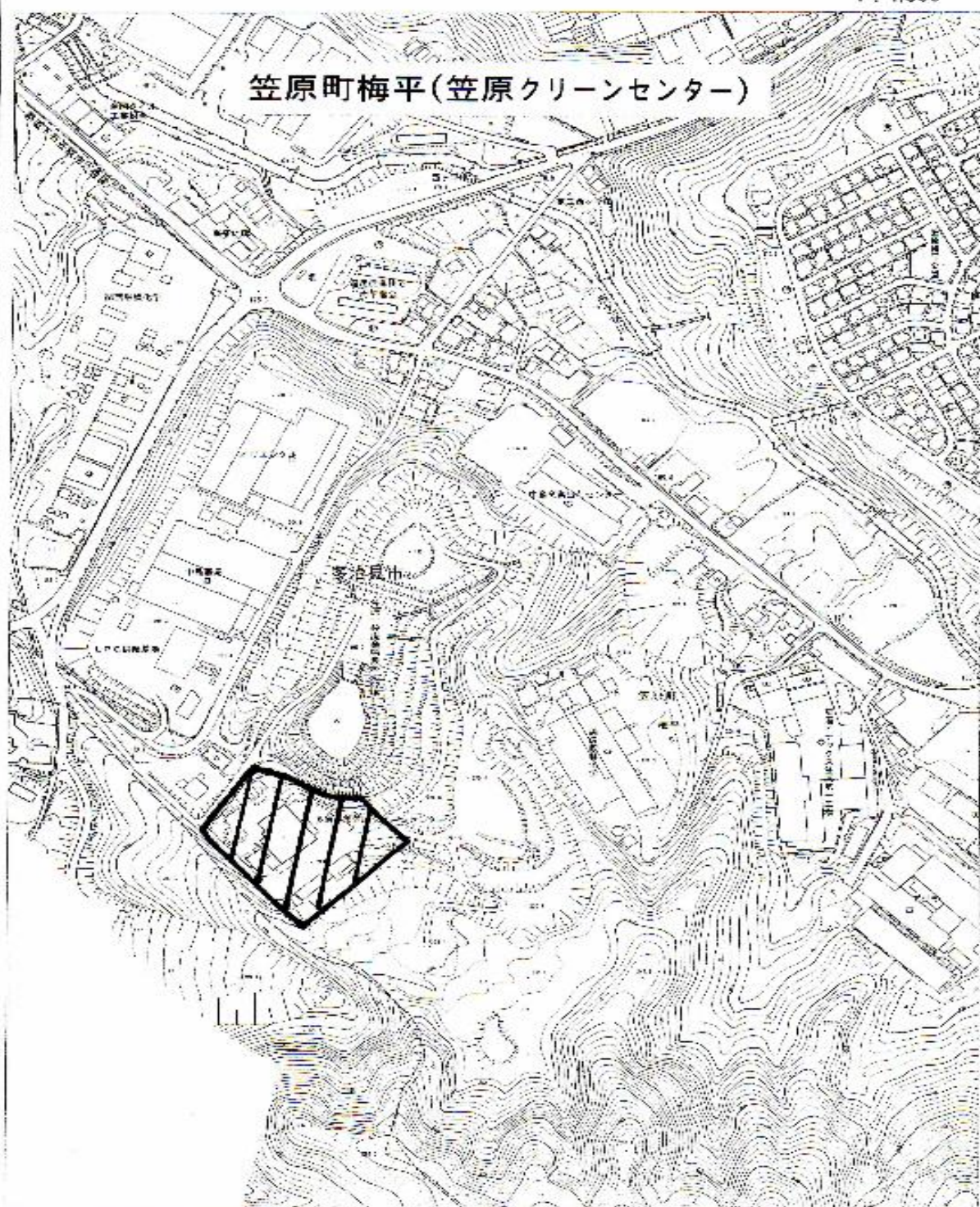


1 : 3,500

金岡町5丁目(工場跡地)



笠原町梅平(笠原クリーンセンター)



笠原町森下(旧し尿処理場)

